

たいにい・ぽっくすつうしん

Vol.49

平成31年
4月10日

〇〇くん〇〇ちゃんと、支援の関係

桜の季節は毎年巡りますが、飽きることはありません。それは、新たな気持ちで季節を迎え、新しい発見や出会い、変化があることでワクワクさせてくれるからでしょう。

障がい福祉従事者向けの情報紙「Support(さぽーと)」に、利用者の敬称についての記事がありました。“「くん・ちゃん」と呼ぶことは虐待にあたるのでしょうか?”の質問に弁護士が回答しているものでした。虐待防止の研修では、「〇〇くん」「〇〇ちゃん」の敬称について、虐待(心理的)にあたると説明されます。事業所開始前の会議で、利用者の敬称について議題に挙げたことをよく覚えています。

たいにい・ぽっくすでは、新しく働くスタッフに、あだ名と男の子を「〇〇ちゃん」で呼ぶことを禁止とし、小学校高学年からは苗字もしくは名前で「〇〇さん」と呼ぶことと決めていることを説明します。その理由はふたつ。

- 一、敬称は人格を表し、大人になることや大人の一員であることを意識させるということ。
- 一、敬称は“利用者”と“支援者”の人間関係を表すものでもあること。

この取り決めは、たいにいぽっくす独自のもので、他事業所では、“年齢を問わず、苗字で「〇〇さん」と呼ぶこと”と取り決めている所もあります。なので、敬称については、まだまだ議論する必要はあるわけです。

進学・進級し、またひとつ成長する子どもたちです。子どもたちには「〇〇ちゃん」から「〇〇さん」と呼ばれるようになったことでその成長を意識してもらいます。私たちは、その成長をサポート・支援するのが役割であることをわきまえ、“利用者”と“支援者”の関係性を守らなければいけないと考えています。

たいにい
のようす



今年の桜は、見ごろが長くなり、春休みの外出は毎回お花見することができました。野毛山動物園は初の外出先だったので子どもたちの反応が気になりましたが、大いに楽しんでくれたようです。



ぎょうざ作り。まるで職人のようにたくさん餃子を作ってくれました。味もおいしかったようで、たくさん食べました。

5月 の予定

母の日創作活動他

5月 休業日

1日 2日 3日

4日 5日 6日

11日 12日

18日 19日

25日 26日

